



☆☆ニュースレター☆☆

第129号
発行日:2015. 2. 27
(since 2006.2.1)

このニュースレターはメールを登録している正会員および賛助会員ほか当団体が了承した希望者に、随時配信しております。配信中止を希望のかたは右記までご連絡ください。

NPO 法人・クライネスサービス

会長: 稲垣 正彦

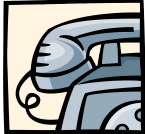
発行責任者: 事務局長・桑原 正明

千葉県佐倉市宮ノ台3-2-2

npo-kleines-463@catv296.ne.jp

TEL/FAX: 043-463-1337

<http://www.catv296.ne.jp/~kleines/>



警察情報

「佐倉警察署移動交番だより」最新号より

ATMの操作で税金や医療費過払い金の還付金が受けられることは絶対ありません。

事務局から

○2月26日(木)志津コミセンにおいて「ユウカリが丘地区自主防犯団体情報交換会」が開かれ、警察署、市役所(教育委員会学務課、市民部防災防犯課)のほか、学校PTA、企業、地区防犯担当など18団体、総勢40名もの出席があり、ユウカリが丘7丁目自治会の司会で、熱心に意見交換が行われました。次回は7月中旬に開催予定です。

「青パトフォーラム in 東京」に参加して

2月21日(土)東京・赤坂で開催された日本財団主催のフォーラムに加藤防犯部長とともに出席した苗木副部长から当日の状況が報告されました。よその活動状況は参考になりますので、以下ご紹介します。

このフォーラムでは、近年の社会状況に応じて青パト活

動に独自のアイデアをプラスして実践している団体の紹介がありましたので、その内容をご報告いたします。



基調講演をする守山教授



始めに拓殖大学政経学部の守山正教授から『地域の犯罪不安感と青パトの役割』と題した基調講演があり、「年々犯罪件数は減っているがその割に不安感は減っていない」ほか、以下の諸点が強調されました。



- ① めったに遭わない事例を聞いても意味がない。
- ② 紙ベースのアンケートには限界があるためインタビューも入れなければだめ。
- ③ 青パトは外部に委託するのではなく自分たちで行い、住民との挨拶や会話が重要である。
- ④ 「街をきれいにする」「防犯カメラを付ける」「夜間照明を明るくする」「パトロールをする」等の安心感シグナルを出すことが大切。
- ⑤ アメリカでは犯罪が多発している所でも地域活動によっては安心感が持てている地区があり、安心できる街づくりには、いかに不安感をなくすかが肝要である。

続いて6団体から「青パト プラス」のポスターセッションがあり、興味深く拝聴しました。

a. (青パト+学校) 地域の子どもを育ていくうえで、ある時は青パト隊、ある時は学習サポーターとして、教室で授業のお手伝い(算数練習問題の丸つけ係も隊員の仕事のひとつ)をしている。(横浜市)



b. (青パト+まちづくり協議会) 日本財団から青パト9台の寄贈を受け9地区の協議会に応じた運用を行っているが、共通しているのは通常の青パト巡回以外に行政に係る事務連絡、荷物運び、地区協議会相互の青パト貸し出しや応援を行っている。このため青パトに関わる

費用は全て行政が負担している。(日南市) 右はそのポスター



c. (青パト+福祉施設) 認知症を患う方の徘徊が増加しているので、地域を熟知している青パト隊員は認知症サポート養成講座を受講し、行方不明者が出たときの捜しかたや、徘徊者に遭遇したときの声掛け訓練をしている。当初民生委員が立ち上げた関係で女性の隊員が多いのも特色。(福岡県・筑紫野市)

d. (青パト+ご当地キャラ) 青パト出発式には花園ラグビー場があることからユルキャラ“トライ君”も駆けつけ盛大に行われた。トライ君をデザインしたシール・缶バッジ・マグネットシールや非常通報の防犯グッズを作成して防犯啓発を行う等、今や青パトといえばトライ君と認知されている。(東大阪市)

e. (青パト+企業) 企業50社の協力を得て夜の厚木を守り、“こども110番ひなん場所シール”を作成して、企業に子どもの避難場所となってもらおうと同時に協力企業の社会貢献をPRしていることから、企業の若手が多くかかわっている。(厚木市)

f. (青パト+警察) 東日本大震災発生後「なんとかせんにゃいけん」と、県警察に連絡し山口県から警察庁へ特別許可を得て期限付きではあるが山口県から1400キロ離れた陸前高田市に向かい、数週間の予定が数カ月にも及び、被災地のパトロールや、がれきの中を登校する子どもの見守り、お年寄りの通院を手伝った。(山口市)

以上がポスターセッション「青パト プラス」の内容であった。全体を通して感じたことは、パトロール以外のプラス内容には感心させられることが多く、我がクライネスサービスも参考になると思うので、今後検討してみる価値はあります。また多くの団体は行政からの費用補助が充実しているように感じとれました。ただし、今回の発表団体はどれも青パトにスピーカーを活用している様子はなく、組織が確立し防犯パトロール以外にも正にプラスとして環境美化やイベント警備、仲間と歩こう会等々、地域に密着した活動を行っている私たちからすると、次回フォーラム開催時には発表団体として名乗りを挙げてほしいのではと思いました。(文と写真: 苗木新作)



左から: 加藤部長、財団担当者、三浦(秀)会員(BPCとして参加)、苗木副部長(筆者)

* 新入正会員紹介:

「吉沢 あや子」(よしざわ あやこ)さん(ユーカリが丘1丁目在・2月25日入会)

“ユーカリが丘に転居し日も浅いので、地域の方々と交流し、少しでも貢献したい”

趣味: 旅行・ネット・映画鑑賞 --- 配布された『広報第15号』で知り、入会を希望